

沖縄県保険医協会会員数
828 名
(7月1日付 現勢)

全国保険医団体連合会会員数
107,424 名
(7月1日付 現勢)

海南 新闻 保险 医 新 闻

発行所 沖縄県保険医協会
〒902-0078 那覇市字識名1195-1
大城産業ビル106号
TEL (098) 832-7813
FAX (098) 832-4482
<https://okinawa-hk.com>
発行人 高嶺朝広
年間購読料1800円(会員の購読料は会費に含む)



6月26日保団連第1回代議員会が開催され、当会から代議員2名と事務局が参加、全国から代議員113人をはじ

保団連第1回代議員会

**医療・社会保障を充実させ、
診療報酬引き上げを**



め、保団連理事會構成役員、事務局など305人が出席した。

住江保団連会長は挨拶の中で、岸田政権は骨太方針2022で、富の偏在と格差の拡大を招いたアベノミクスを堅持し、医療・社会保障費は削減、一方で防衛費を5年以内に倍増させる防衛力強化の方針を打ち出した。新自由主義により脆弱化した経済・社会・医療体制を立て直し、新たな感染症危機にも対応できるように公衆衛生機能の充実、医療提供体制の構築をめざし、7月の参議院選挙に向けて、保険医の要求実現のため、活動に取り組むと述べられた。

事前発言通告に基づき、134通の発言通告と延べべ28人のフロア発言があった。10月からの75歳以上の医療費窓口負担2割化の中

止、診療報酬の大幅な引き上げ、リフィル処方箋の中止、医療機関等でのオンライン資格確認の義務化、保険者による保険証発行の選択制導入、保険証の原則廃止の方針の撤回、平時から余力のある医療提供体制の構築、公立・公的病院の病床削減計画の見直し、歯科材料の金パラ逆ザヤの解消、国連憲章の立場から国際紛争は徹底した外交努力で解決を求めること、9条改憲、核共有など軍拡路線を止めることなどの活発な発言がなされた。最後に軍事費の2倍化を中止し、医療・社会保障の充実を求める決議が採択された。

当会からは発言通告2本を提出、内容は本紙3面に掲載。口頭発言（高嶺代議員）「日本復帰50年にあたり、平和で豊かな沖縄の実現に向けて更なるご支援

第34回定期総会

日 時：8月20日(土)午後7時～8時
場 所：協会事務所(オンライン併用)
※総会議事のみで開催となります。

太方針は医療を閉
塞感へ」(座覇代議
員)

おきなわ事業者復活支援金について

沖縄県は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年11月から2022年3月までのいずれかの月の売上が、2018年11月から2021年3月までの同月比で30%以上または50%以上減少し、国が実施する「事業復活支援金」を上限額で受給した県内事業者（沖縄県内に住所を有する個人事業者または法人事業者）を対象に、売上高減少率、事業形態、売上規模に応じて県独自の支援金を給付します。

申請受付期間：2022年5月30日（月）～ 8月31日（水）まで
【給付上限額】

売上高減少率	個人	法人(基準月をその期間内に含む事業年度の年間売上高)		
		(1億円以下)	(1億円超～5億円以下)	(5億円超)
▲50%以上	10万円	20万円	30万円	50万円
▲30%以上～50%未満	6万円	12万円	18万円	30万円

申請方法：電子申請のみ ※郵送での申請書提出には対応していません。
「令和4年度おきなわ事業者復活支援金ホームページ」よりお申込み下さい。
Webサイトアドレス（URL）<https://fukkatsu.okinawa>
二次元バーコードからもアクセスいただけます。

問い合わせ先:「おきなわ事業者復活支援金事務局コールセンター」
電話: 098-953-8294 Eメール: info@fukkatsu.okinawa

運営期間：2022年5月24日～9月予定 9時00分～17時00分（月～金平日のみ）



反核医師の会全国大会

6月12日に反核医師の会「第18回全国大会」が開催された。

①午前の総会決議内容を報告する。

つの「核保有国」は本年1月3日の共同声明で「核戦争に勝者はいない。」「核兵器は防衛や侵略の抑止、戦

争を防ぐという目的のために存在しなければならぬ。我々の核兵器は、他のいかなる国も標的としていない。」と強調した。

しかし2月24日、ロシアはウクライナを侵略し、プーチン大統領は「ロシア

は世界で最も強力な核保有国の一つ」と欧米に警告を発し、ロシア軍の抑止力部

る言動であり、「核兵器は核戦争の抑止ではなく、威嚇やさらには核戦争のために存在する」ことを証明することとなった。

よって当会は、全ての生命を途絶えさせる核兵器の廃絶を目指し、核廃絶の担い手となる世界の若者を支援していく。

②午後は、明治学院大学
教授の高原孝生氏による記
念講演があり、冒頭でドキュ

メンタリー映画「核兵器の終
わりの始まり」が上映され
た。この映画はYou Tubeで
無料視聴が可能なのでお奨
めしたい。

高原氏も昨今のロシア情

高原氏も昨今のロシア情勢より「核による平和維持」は持続不可能なことが判明したとした。また、日本の将来像として、ひと頃のような大国意識は捨てて、周辺国との友好関係を築き、国際組織として発展を目指すことが結局は日本の国益に繋がり持続可能な国際社会ともなるだろう。大国ばかりに目を向けるのではなく、志を共にできる国々との共存共栄を図るべき。そんな志を持つ国はきつとあると話された。

ふう たん
風 弾

壁の耳より
障子の目より

しかも、そこは歩道からの入口なので、車は歩道の半分以上に塞いでいる。言うまでもなく違反行為だし、歩行者の邪魔にもなるし、視覚障害者用誘導ブロック（歩道上の凹凸プレート）の上まで覆っているから本当に危ない。運転手にも言い分はあるのかも。でもね、他人を危険にさらし迷惑をかけてよい身勝手な理屈は通らないよ。見ると、運転席のドアに「医療法人〇〇××」とある。私はスマホで写真を撮りつつ「次は通報するよ。」と呟いた。

医院内、施設内は元より、目の行き届かない場面でも、壁の耳より障子の目よりも、壁はこわい。音や画像を記録して、拡散も投稿もできるのだから。

滋賀県保険医協会主催 時局講演会開催

日米地位協定とコロナ感染拡大

群星冲縄臨床研修センター・筑波大学客員教授・医師
徳田 安春



日米地位協定が地域住民にとつて不条理であることは、米国が日本以外の各国と結んでいる同様の協定内容と比較すればわかる。米

軍の活動に駐留地の国内法を原則適用していないのは日本だけである。米軍駐留を受け入れているドイツ、イタリア、ベルギー、英国などの各国では、自国の法律や規則を、米軍基地や米軍関係者に対しても厳格に適用し、米軍基地の管理権を確保し、訓練や演習に主体的に関与している。しかし、日

本では、米軍基地や米軍関係者に対して、日本国内の法律は適用されず、訓練や演習に關与することも無い。

ドイツとイタリアは、日本と同じ敗戦国ながらも、当初は不平等だつた協定の改訂に成功している。それは、両国で起こつた米軍機事故への国内世論に依じて、民主的に改定を実現したの

だ。一方で日本政府は、締結から約60年も不平等協定を放置している。訓練や演習に対する規制をかける権限は日本側には無く、事故や事件が発生しても米軍の同意無しには捜査することもできないのだ。

1972年の日本復帰以降の50年間、沖縄では平均して年一件以上の米軍機墜落事故、月一件以上の米軍人や米軍関係者による凶悪事件が起きており、その頻度が低下する傾向はない。訓練の規制や事件および事故の捜査が日本側で十分に行えず、再発防止につながら

らないからだ。全国知事会や多くの地方議会が地位協定の不平等部分に対する抜本的見直しの意見書を可決しているが、政府や政権与党には見直しへの行動を取る様子は全くみられない。

1951年のサンフランシスコ講和条約で日本から切り離されて米軍の施政下に置かれた沖縄では、日本復帰にもかかわらず、地域住民の自律性が無視された支配が続いているといえる。米軍関係者の沖縄への入国では通常の検疫が行われずに、米国で流行している感染症は沖縄への直輸入感染

抄論

戦後27年間、米国は沖縄の医療を
どう統治したか ― 1

理事 照屋 正信

日本復帰50周年、様々な角度から論じられているが、米国統治下における沖縄の保健・医療と密接不可分にある米国統治との関わりは忘れ去られようとしている。

1945年4月1日、沖縄本島中部・読谷に上陸した米国は、すぐに海軍政府を樹立(ニミッツ布告)、同時に20万人余が犠牲になった地上戦を展開した。激戦地となった南部や中北部の制圧した地域には次々と12カ所の収容所を設置、戦火

を生き抜いた民間人を収容した。

その中から教職者や有力者15名を選び、民間人に依

る統治機構、沖縄諮詢会を
発足させた。翌年には沖縄

民政府に50年に奄美、本島、宮古、八重山それぞれの地域に群島政府を設置、51年には琉球臨時中央政府に統合され、最終的に52年、日本復帰まで続く琉球政府を創設した。めまぐるしく変遷した住民による統治組織は米軍統治の混乱ぶりを示している。琉球政府の上に絶対的に君臨したのが海、陸軍政府から代わった米国民政府（USCAR）であった。

敗戦後、連合国の支配下に置かれた日本は1951年サンフランシスコ平和条約締結で独立したが、朝鮮戦

争や中国共産党政権誕生が影を落とす中、その3条で

沖繩の施政権は米国に委ねられた。それを境に日本本土の海兵隊基地は沖繩に集約され、本格的な基地建設、軍事優先の統治が続くことになった。

遊べない（ワトキンス少佐の
諮詢会発言）」「沖縄の自治
は神話にすぎない（キャラ
ウェイ高等弁務官の金門ク
ラブ発言）」が沖縄の状況
を表していた。

統治初期から人権や命は

輕視され、住民に対する殺
人、強盜、傷害、強姦など
の凶悪犯罪が続出した。外
務省文書には比較的世情が
落ち着いた1963年、64
年の米軍の犯罪件数が各々

973件と記されているが、戦後間もない動乱の40年代後半から50年代には数多くの犯罪記録が残されている。日本復帰後には米軍犯罪が減少したものの、それでも2020年までに年平均126件発生している。これらは表の数字であり、隠れた裏の数字は遥かにこれを凌ぐだろう。

非核平和部会

5月15日、大阪で非核平和部会が開催された。

昨今の「ロシアによるウクライナ侵攻」について最も多く議論が交わされたことは言うまでもないが、この日は沖縄本土復帰50周年当日であったこともあり、今回はその点に絞った記事とさせて頂く。

の「Atomic Biological Chemical」災害は、沖縄で起ったのは、沖縄に1400発もの核兵器が装備されていた背景から起きた。1960年前後、那覇の米軍基地から核ミサイルの誤射があり、米兵が死亡した。また、核爆弾を積んだ戦闘機が沖縄近海で空母から転落するという事故もあった。これらの核ミサイルと核爆弾は、撤去されることなく、いまだに沖縄の近海深くに沈んでいる。さらにはイラク戦争当時、米軍は沖縄の久米島近くの無人島で劣化ウラン弾を千発以上打ち込む訓練を行った。しかし、そのエリアでの放射能被曝の調査は不十分であり、その実態は不明である。

Biological 災害は前述の先天性風疹症候群と新型コロナウイルスの今回の新型コロナウイルスの起源に関して、WHOは武漢ウイルス研究所からのリークの可能性を排除していない。研究所に

徴的な課題とは、即ち米軍基地関連事象」と捉えられやすい。たしかに米軍関連事象が多いのであるが、沖縄県が特徴的に抱える課題は他にもある。離婚率、子どもの貧困率、ヤングケアラー、低賃金低所得、低学力、交通インフラ不足、これらは直接間接を問わず「経済課題」と関連する。

「自分には関係ない。」と感じる方もいらっしゃるかもしれない。しかし、沖縄県民社

ーク説だ。中国と米国を含む大国が、生物兵器への予防対策研究と称して生物兵器そのものを製造する実験を行なっていたが、遺伝子でのgain of function操作など、研究者の実験での逸脱行為を規制する国際的ルールが整備されていない。旧日本軍の731部隊から生物兵器情報を独占的に引き継いだ米軍は、生物兵器についての開発実験競争の先頭に立つ存在だ。海外の米軍基地のうち、日米地位協定で囲まれた在沖米軍基地への搬入や貯蔵が行なわれるリスクは高いとみるのが当然だろう。

最後にChemicalがある。1969年、沖縄の知花弾薬庫(現・嘉手納弾薬庫)内でVXガス放出事故が起き、米軍人ら24人が病院に収容された。米紙ウォール・ストリート・ジャーナルが報じたため、沖縄の住民も知る事になり、VXガスが全面撤去された。しかし、ベトナム戦争当時、ダイオキシンの全体の全体を見渡し未来を展望するならば「関係ない。」と言いつける沖縄県民はまずいないのではなからうか。

米軍基地関連以外の他の課題においても行政や政治を担う人々との協働によって望ましい道を模索し切り拓くことが肝要ではなからうか。

本土の人達は沖縄の抱える課題には無関心という声もある。では、沖縄県民は本土の様々な事象に対して果

などの環境汚染物質を基地の土壌内に埋めたことも、のちに返還された跡地での発見が頻発している。最近問題となるChemicalはPFASだ。PFOSやPFOAなどを含む複数の種類からなる有害性残留フッ素系有機化合物であり、分割されにくくforever chemicalと呼ばれる。これらは泡消化剤として軍事基地で使用されることが多く、安全に処理されずに放出され、基地周辺の地下水や土壌が極めて高濃度で汚染されている。

ロシアのウクライナ侵攻で、日本国憲法を改憲すべきと論じる人々がいる。しかし、日本国憲法の三本柱である、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重、は国内の全ての地域で平等に守られているのだろうか。沖縄から見つめると、憲法を守らない人々たちが「改憲」と叫んでいるようにみえるのだが。

たしてどの程度、思いを馳せるのだろうか。今や【無関心病】が、コロナ以上に重く深く長く日本を席卷しているように私には思える。近隣地域や隣人に対しても無関心でいられるのが【無関心病】なので、社会課題の改善には非常に都合が悪い。

次の50年、他人と社会への【無関心病】を得意とする名医が現れることを熱望する次第である。

副会長 樋口 豊

守られているのだろうか。沖縄から見つめると、憲法を守らない人々たちが「改憲」と叫んでいるようにみえるのだが。

たしてどの程度、思いを馳せるのだろう。今や【無関心病】が、コロナ以上に重く深く長く日本を席卷している

ように私には思える。近隣地域や隣人に対しても無関心でいられるのが【無関心病】なので、社会課題の改善には非常に都合が悪い。

副会長 樋口 豊

口頭発言

日本復帰50年にあたり、平和で豊かな沖縄の実現に向けて更なる「支援を



変わらぬ基地負担

当県は今年5月、日本復帰から50年の節目を迎えた。復帰当時、日米安全保障条約や日米地位協定が適用されることで、沖縄の米軍基地も「本土並み」になると言われていたが、50年が経過した今も基地負担は変わらない。むしろこの50年で沖縄県以外の米軍専用施設が沖縄に移転したことで、沖縄の米軍専用施設は全国に占める割合が復帰時の58・8%から現在の70・3%に増加した。日本の国土面積の0・6%にすぎない沖縄に米軍基地が集中し続けている。

後をたたない事件、事故、健康被害・環境汚染

基地から派生する被害は後を絶たない。沖縄県警の統計などによると、1972年〜2021年までの間、米軍構成員等(米軍人、軍属、その家族)の事件、事故の刑法犯による摘発は6109件、そのうちの凶悪犯の摘発は584件で、約9割が米兵によるものであった。

1995年の少女暴行事件、2004年の沖縄国際大学へのヘリ墜落事故など、米軍機の墜落や航空機からの落下、航空機騒音被害に加え、基地からの有機フッ素化合物(PFOS)が漏れ出し、水質や土壌などの環境汚染や健康被害など、日常生活に深刻な影響を与えている。事件や事故の調査において国内法が及ばない日米地位協定は1960年の締結から一度も改定されておらず、沖縄県をはじめ、全国知事会なども日米両政府に抜本的な見直しを求めているが、実現されていない。

沖縄の民意届かず

沖縄県はこれまで機会があるごとに日米両政府に基地負担の軽減を求めている。2013年には県議会、県内41の全ての市町村が連名でオスプレイの配備撤回、普天間飛行場の県内移設断念等を求めて、政府に建白書を提出したが、一顧だにされていない。加えて、現在政府が進めている辺野古新基地建設は、県民に新たな基地負担を強いるもので、基地の整理縮小や日米地位協定の見直しを問うた県民投票(1996年)では、賛成が89・09%に上り、有権者の過半数(53・04%)に達した。辺野古新基地建設に伴う埋め立ての賛否を色を伺いながらこれを推し進めようとしている。

文書発言

骨太方針は医療を閉塞感へ

代議員 座覇 修好

この度の政府が示した骨太方針には医療のIT化が述べられているが、具体的なものは言及されていない。ものの、大方の予想がつく動きである。医療のスキルとに行われるのは望ましいも

のもあるのだが、健康保険証をマイナンバーカードに置き換えるなど、現場の都合お構いなしの方策や、国民の生活状況への配慮もなく後期高齢者窓口負担2割化など、アナウンスして国民の顔

世情が世情だけに軍事関係予算の増額が防衛省から求められているが、医療福祉のそれには配慮もなく、正当な評価もないまま本末転倒の議論がここ何十年も続いている。国民へ一体どう効果的に伝えればいいのか、保団連全体での不断の議論と活動を今一度喚起したい。

代議員 高嶺 朝広

問う県民投票(2019年)でも有権者の52・4%が投票し、反対票が72・15%に達した。沖縄県と国の法定闘争は、法令により権限と責任を委ねられた知事が行った処分が、国により取り消されるという事態が生じ、地方自治の観点から大きな問題がある。

沖縄県民総意の米軍基地の負担軽減、在沖米軍基地の更なる整理・縮小、日米地位協定の抜本的な見直し、普天間飛行場の速やかな運用停止を含む危険性の除去、辺野古新基地建設の断念等、構造的、差別的と言われている沖縄の基地問題の解決に向けてこれまで保団連と全国の保険医協会の皆様の支援と協力を受けて沖縄県保険医協会は取り組んできました。ありがとうございます。これから取り組みは続きますが、変わらぬ支援をよろしく願っています。

共済部だより

休業されたらすぐに協会にご連絡を！
2022年6月度休業保障共済保険給付実績

	口数	入院	自宅療養	給付金額
A先生	5口	0日	30日	450,000円
B先生	1口	0日	6日	36,000円
C先生	3口	0日	4日	72,000円

開業・就業状況、住所変更、勤務先変更などがありましたら、速やかに協会事務局(☎098-832-7813)にご連絡下さい。

神奈川県保険医新聞より転載⑥

沖縄について学んだこと

江戸時代の琉球・薩摩藩の策略の犠牲

益田 総子



益田総子(ますだ ぶさこ) 千葉県出身。1967年、東京大学医学部卒業。現在、神奈川診療所に勤める。

今回は江戸時代の琉球・薩摩の話。江戸時代は1860年代の明治維新まで、260年ほど続き、徳川幕府が強大な権力で日本の諸国に大名を配置し、土農工商の封建制度を固めた時代です。江戸、大阪などは人口が集中して賑わいますが、他は農業が主体で国民の大多数は農民です。

武士は大名に雇われ、現代の官僚のような仕事をし、刀を腰にさし「問答無用で切り捨てる権利を持つ世の中でした。農民は「百姓は死なぬよう殺さぬよう」過酷な労働を強いられ、収穫した米は年貢に取られ、口に入るのは雑穀だけ。夜明けから日没まで野良仕事、日没後は藁の加工作業や、女達は木綿や麻で布を織り、醤油、味噌、油は自家製。老いて死ぬまで働き、豆は畑や畦の縁に植えて収穫する貴重な蛋白源でした。

その頃の琉球は、1609年に島津氏に侵略、占領され、琉球の国王は島津氏に絶対服従、形だけは独立国を保ちます。

江戸時代、島津氏は加賀百万石に次ぐ七十七万石の強大な薩摩藩となり、四人に一人は武士でした。その薩摩藩が琉球を属領(実態は植民地)として支配したのです。

薩摩藩は、表向きは琉球を独立国とし、琉球の古代からの制度や風習を残して、琉球人に大和名(日本的な姓名)や大和言葉(禁じて支配しました。「江戸上り」(琉球国王が替わると江戸

幕府に挨拶に行く)には、琉球の人々に中国風装束で笛吹きながらの行列で練り歩かせ、徹底して琉球が異国であると日本中に宣伝しました。

江戸幕府は鎖国政策をとる、外国との貿易厳しく禁じ、足利、秀吉時代以来、諸外国との貿易取引は完全に途絶えたままとなっていました。琉球王が中国、東南アジア諸国との貿易を続けていた権益に、強力な武将の島津氏は目を付け、秀吉、徳川と日本の流れが変わる時に、一気に攻め込んで琉球を手に入れたのです。薩摩藩支配の下でも、琉球は中国が明らから清に替わった後も、諸外国と交易を続けていました。

薩摩藩が琉球を支配する、まず検地を行ない、琉球王府から、総石高の30%くらいの高い年貢を取り立てました。また、琉球王府と中国との貿易に厳しい統制を加え、貿易から上がる利益は全部横取り、経費は琉球持ち。琉球王府は財源確保のために、領地から薩摩藩に上乗せした年貢を取り立てる。その結果、百姓の取り分

は20%という途方もない重税になっていました。その上、宮古・八重山(石垣島、西表島など)の島々には、15歳から50歳までの全員に人头税を課し、農作物、織物などのほか、役所に必要な労務を駆り出し、守れないと酷い拷問にかけ、奴隷のような扱いでした。当然、島民の不満は強く、時に百姓一揆も起こりましたが、武力で鎮圧され、実を結ばずに終わっていました。

薩摩藩は、琉球の士族に武器を持たせず、実際の権限は薩摩藩の武士が持ち、琉球から年貢として搾り取ったものは、米、織物のほか、サトウキビから精製する砂糖、染料、薬品にするウコンなどで、大阪で高く売りました。巨大な財力を蓄えていったのです。その一方、琉球王府は、王族、士族たちの優美な文化が一時栄えますが、次第に財政が破綻を来します。その頃になると、日本の南端の琉球を足掛かりに、英、仏、米などが、日本の開国を迫るようになり、江戸幕府の根幹を揺るがします。このあたりの詳細は次回にしましょう。

生きるとは、死のあり方とは。命の尊さを、静かに、かつ強く訴えかける作品です。

天久 佐和子

映画レビュー

PLAN 75

近未来の高齢化が一層進んだ日本で、75歳以上の高齢者が自らの生死を選択できる「PLAN 75」という制度が国会で可決された。国はCMや街頭で様々なキャ

ンペーンを行ってPLAN 75の勧誘を行う。倍賞千恵子演じる主人公ミチは客室清掃員として働く78歳で、同僚で友人の死をきっかけに将来を案じ、PLAN 75を申し込む。そして...というストーリーです。

カンヌ国際映画祭で、あ



現在上映中

令和4年度 沖縄県の指導日程

（九州厚生局 沖縄事務所）

【医科】 指導日程表（案）			
年 月 日	曜日	指導種別	対象数
令和4年7月6日	水	新規個別指導	3
令和4年7月6日	水	個別指導	1
令和4年7月21日	木	新規個別指導	3
令和4年7月21日	木	個別指導	1
令和4年7月28日	木	新規個別指導	3
令和4年7月28日	木	個別指導	1
令和4年8月3日	水	新規個別指導	3
令和4年8月3日	水	個別指導	1
令和4年9月1日	木	新規個別指導	3
令和4年9月1日	木	個別指導	1
令和4年9月7日	水	新規個別指導	3
令和4年9月7日	水	個別指導	1
令和4年9月14日	水	新規個別指導	3
令和4年10月6日	木	特定共同指導	1
令和4年10月7日	金	特定共同指導	1
令和4年10月20日	木	新規個別指導	4
令和4年10月26日	水	新規個別指導	1
令和4年10月26日	水	個別指導	1
令和4年10月27日	木	集団的個別指導	1
令和4年10月27日	木	新規個別指導	2
令和4年11月10日	木	集団的個別指導	57
令和4年11月17日	木	新規個別指導	4
令和4年12月1日	木	新規個別指導	4
令和4年12月14日	水	新規個別指導	2
令和4年12月15日	木	集団的個別指導	2
令和4年12月15日	木	新規個別指導	4
令和4年12月22日	木	新規個別指導	4
令和5年1月18日	水	新規個別指導	4
令和5年2月15日	水	個別指導	1

※指導年月日、会場、指導対象数は変更となる場合があります。

【歯科】 指導日程表			
年 月 日	曜日	指導種別	対象数
令和4年7月14日	木	新規個別指導	3
令和4年8月18日	木	新規個別指導	3
令和4年9月15日	木	新規個別指導	3
令和4年10月20日	木	新規個別指導	3
令和4年11月10日	木	新規個別指導	2
令和4年11月10日	木	集団的個別指導	1
令和4年11月11日	金	新規個別指導	2
令和4年11月11日	金	集団的個別指導	2
令和4年11月17日	木	個別指導	1
令和4年11月24日	木	集団的個別指導	47
令和4年12月1日	木	個別指導	1
令和4年12月15日	木	新規個別指導	3
令和5年1月19日	木	新規個別指導	3
令和5年2月2日	木	新規個別指導	2

※日程については、変更になる場合（感染症対策、台風等）があります。

「医者」がカルテの画面ばかり見て話を聞いてくれない」と不満を訴えるのを巷で耳にする。患者からは「聞いていない」と受け止められるのだろう。お笑い芸人からもその場面が揶揄される。

空き時間ができると彼女たちとおしゃべりする。リラックスタイムである。今ではシュライバー（最近では「クラーク」の名称が広がっている）は私の外来診療のF1ドライバである。

診療雑感 44

シュライバー

オリブ山病院 精神科 仲里 尚実

「シュライバー」と聞いても多くの若い先生方は「何のこと？ドライバ？」と思うかもしれない。ドイツ語でSchreiber「書く人・書記」を意味する。私が研修医であった頃、オーベン（指導医・上級医）について回りシュライバーをやらされた。先輩医師が患者を診察しながら語る所見や会話を、先輩の斜め後で書き取るのである。当時パソコンなどはなかった。メモをとり改めてカルテが、いわゆる「ブラインドタ」電子カルテの時代になった現在（紙カルテもまだ健在であるが）、自分にとって記録は大分楽になった。誤字・脱字の訂正、文の前後の置き換えも自由自在であるが、いわゆる「ブラインドタ」最大の特長は患者が診察室に入った最初の挨拶から退室まで、顔を突き合わせて診察ができることだ。患者にとっても私にとっても明らかに満足度は増した。患者が「医者」がカルテの画面ばかり見て話を聞いてくれない」と不満を訴えるのを巷で耳にする。患者からは「聞いていない」と受け止められるのだろう。お笑い芸人からもその場面が揶揄される。

つぎに診察時間の大幅な短縮だ。今では診察を終えて10秒以内にはカルテ記載が終わっている。私の画面に移してチェックするが、たまたま交換ミスがあるくらいで、見事に患者とのやり取りが見やすく整理され記載されている。情報記載量は私だけで処理する量の少なくとも5倍以上となる。患者が診察室に入室するときの歩行状態・表情、同行者が誰かなど、私の指示がなくなると記載されている。

最後はA/P（評価と計画）。患者への説明や会話の流れから判断し、薬の変更・漸増漸減、生活指導内容、検査計画、次回受診日などが書き込まれている。私はチェックし、若干書き加えるだけで上書きクリックして終了、何と楽なことか。

空き時間ができると彼女たちとおしゃべりする。リラックスタイムである。今ではシュライバー（最近では「クラーク」の名称が広がっている）は私の外来診療のF1ドライバである。

この本に教わった 25

「ドイツ人の友への手紙」カミュ全集3

アルベール・カミュ 著 新潮社（絶版）

ロシアのウクライナ侵攻が長期化しています。いったいどのようにすれば戦いを止めることができるのでしょうか。戦いがますます拡大していく不安に襲われます。そもそも戦争とは何か、なぜ人は戦うことになってしまったのか、自分も巻き込まれていく成り行きに簡単には答えを出せない問いが浮かんでは消えていきます。これらの問いに対する明確な答えはもとよりありませんが、考えるヒントになるような文章に出会いました。カミュの「ドイツ人の友への手紙」（以下「手紙」）です。

本書はフランスの文学者カミュが、ナチスドイツ支配下のフランスで書いた文章です。手紙の宛先である「ドイツ人」です。

しかし4年後の1943年、繰り返されるナチスの暴虐の前にカミュは「手紙」で考えた変化を表明します。そこには、人と人との憎しみ殺しあう戦争に強く反対する思いと、何の罪もない人々が無残に殺される現状を黙視できない思いとの深刻な葛藤が表明されています。「手紙」は4回にわたって非合法新聞「コンバ」に掲載されました。カミュの作品に「貫して流れている、あらゆる殺人に反対する姿勢は、ここでもぎりぎりのところまでカミュを追いつめています。絞り出すように書かれた、戦いに加わる決意を述べた言葉は重いものです。

「わたしたちを駆り立てている偉大さは、戦場へ突進する偉大さとは別のものである。わたしたちは、憎悪と暴力とは空しいものであることを知っている。にもかかわらず、わたしたちは戦いに赴く。この、戦争を軽蔑しながら戦っているという点において、『最高の文

紙』で考えた変化を表明します。そこには、人と人との憎しみ殺しあう戦争に強く反対する思いと、何の罪もない人々が無残に殺される現状を黙視できない思いとの深刻な葛藤が表明されています。「手紙」は4回にわたって非合法新聞「コンバ」に掲載されました。カミュの作品に「貫して流れている、あらゆる殺人に反対する姿勢は、ここでもぎりぎりのところまでカミュを追いつめています。絞り出すように書かれた、戦いに加わる決意を述べた言葉は重いものです。

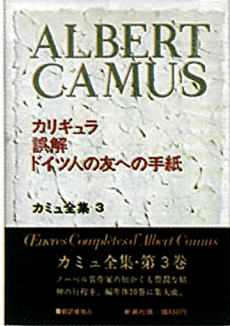
「人間の偉大さは一極においてあらわされるものではなく、同時に両極にふれることによって現われる。」

「手紙」の冒頭には、パスカルの次の言葉が引用されています。

「わたしたちは、心において未知性においても、克服しなければならぬものを持っている。きみたちにはそれがなかった。」

明についての観念」を抱きながら非文明的な争いに赴くという点において、わたしたちはきみたちよりも勝っている。なぜなら、わたしたちは『自分を制しなければならぬ』からである。わたしたちは、心において未知性においても、克服しなければならぬものを持っている。きみたちにはそれがなかった。」

オリブ山病院 横田 泉



オリブ山病院 横田 泉

保団連歯科社保・審査対策部会

5月29日に保団連歯科社保部会が開催された。以下に概要を報告する。

1、未だに解決しない金バラ問題について。

補綴・修復物の診療報酬が上がつても金バラ高騰に伴う結果であり歯科医の利益が大幅に増えるわけではない。そのことを正しく社会に伝える（誤解を解く）必要があることと、今後の改

2、本年4月の診療報酬改定について。

複数の協会が会員アンケートを行なった結果、今次改定を「プラス改定」と言われてもピンと来ないという意見がかなり多かった。初

3、マイナンバーカードによるオンライン資格確認について。

現政府はいずれ保険証を廃止して全てマイナンバーカードに統一する考えであるとのことである。そうなることと診療報酬請求も同様に統一されて、紙レセプトはもろんのこと、CD等の電子

副会長 樋口 豊